

(仕様書第3号様式)

**かながわコミュニティカレッジ運営業務実施報告書**

令和7年7月～10月分

(令和7年10月18日現在)

**1 業務の名称**

令和7年度かながわコミュニティカレッジ運営業務

**2 実施した業務の内容等****(1) 講座企画実施団体への支援業務****ア 講座実施に係る団体・講師との調整および支援**

- 令和7年度計画講座の企画実施団体又は講師と打合せをする等、講座開催時期や内容等の調整・確認を行い、7月より順次講座を開催した。また、年度後半に開催する講座の調整、準備等を行った。
- 特にコミュニティカレッジでの講座実施経験が少ない団体や新規の団体には、講座カリキュラムの調整、運営について個別に相談・助言を行った。

**イ 横須賀市で多様な受講生に配慮した講座開設を準備**

- 横須賀市で開催する『多様性の視点から災害と避難所・避難生活を考える』講座の開設準備を行った。現時点での受講人数は24名(10月18日時点)。そのうち横須賀市在住者は15名となった。受講生のうち、手話通訳希望者1名、車イスの方2名、託児1名となり、それぞれ対応を行いながら講座を運営する予定である。

**(2) 受講生募集のための広報****ア 募集チラシの作成・送付**

- 主催講座、連携講座、特別講座の募集チラシをそれぞれ作成、県内の公共施設等へ送付・配架依頼した。国際交流ラウンジや行政サービスコーナーなどにも引き続き配架依頼した(作成数12件、送付先 約700件)。

**イ 多様な媒体を活用した講座情報の発信・周知**

- 講座情報を下記の媒体を通じて告知した。

県のたより、かながわコミュニティカレッジのホームページ(県のHP及び当団体運営HP)、かながわコミュニティカレッジ登録者メールマガジン、基金事業課・NPO協働推進課のメールマガジン、Peatix、県民センター1階デジタルサイネージ、市民活動支援センター・社会福祉協議会のWEB広報等

**ウ メールマガジンによる講座情報の発信**

- かながわコミュニティカレッジ登録者メールマガジンは、7月31日、8月30日、9月24日に配信を行った。講座案内や、公式Instagramの紹介、NPOやボランティア情報等を探す際に活用できる神奈川県内ボランタリー活動支援センター情報、ボランタリー活動相談窓口の案内等を配信した。(メールマガジン配信 4,147件 9月24日時点)

**エ 公式Instagramによる講座情報の発信・広報**

- 自由提案の1つであるSNS強化のため、かながわコミュニティカレッジの講座の告知情報や様子等を発信するため、6月6日より公式Instagramを開設している。現在、投稿42件、フォロワー85名(10月18日時点)となった。

<投稿内容> 講座募集チラシ、講座報告、支援施設等に行ってきました！

[https://www.instagram.com/komikare\\_kanagawa/](https://www.instagram.com/komikare_kanagawa/)



#### オ 活動報告書の配布および関係ネットワークとの情報連携

- 令和6年度に作成した、「令和6年度活動報告」は引き続き、県民センター内に配架し、講座受講生に配布した。
- 「かながわ人生100歳時代ネットワーク」に参加し、講座情報の提供などを行った。

#### (3) 令和6年度修了生アンケート調査

##### 修了生アンケートの実施と修了生の活動把握

- かながわコミュニティカレッジで令和6年度に実施した県主催24講座の修了生に対して、修了生アンケートを送付・回収し、回答を集計・分析した調査報告書を作成した。アンケートと同時に、修了生に活動の様子などお知らせいただく近況報告シートを郵送し、集まった近況報告シートを県民センター11階のコミュニケーションボードに掲示した。

修了生総数 532名 (延べ修了者数 656名)  
 回答者 111人 (延べ回答者数 137人)  
 回答率 20.9% (延べ回答率 20.9%)

- 主な回答結果は次のとおり。修了生アンケート調査報告は「参考資料1」を参照

##### <受講後の変化について>

- ・受講後に何らかの地域活動を行っているとの回答が62.2% (69人)。  
 うち59.4% (40人) が「ボランティア団体の活動やNPO活動への参加」を選択。

##### <地域活動を行っていない理由>

- ・「地域活動を行っていない」と回答した人 (42人) が現在活動ができない理由として「多忙である」が最も多く、次いで「自分に合った活動内容・活動先が見当たらない」「活動に向けて現在準備・勉強中である」であった。

##### <講座の有用度>

- ・修了した講座が、その後の地域活動や生活に「大変役立った」「少し役立った」の回答が87.6% (120人)。
- ・「役立たなかった」と回答した人の理由として「講義の内容を活かす機会がない」の回答が多かった。

#### (4) その他報告事項

##### ア 講座周知に向けた施設訪問と情報連携の実施

- 県内ボランティア情報の収集、ボランタリー活動支援センター等との情報交換、コミュニティカレッジのチラシ配架状況の確認などを目的に、事務局スタッフが下記の施設を訪問した。訪問先施設で講座チラシやパンフレット(年間講座スケジュール)が、どのような状態で配架されているかを確認したところ、複数の講座チラシがそれぞれわかりやすく配架されている施設や、複数のチラシがひとまとめに配架されている施設など、様々であった。

- チラシの配架スペースが限られている施設もあることから、10月下旬のチラシ発送時に、各施設に「チラシ配架についてのアンケート」を同封し、チラシ配架場所の有無や、どの程度スペースに余裕があるかを伺ったうえで、今後のチラシ発送方法の見直しの参考にしたい。

##### <訪問施設>

- ・ボランタリー活動支援センター

さがみはら市民活動サポートセンター、かわさき市民活動センター、茅ヶ崎市民活動サポートセンター、藤沢市市民活動推進センター、藤沢市市民活動プラザむつあい、旭区市民活動支援センター「みなくる」、三浦市民交流センター

・社会福祉協議会等

三浦市社会福祉協議会、三浦市ボランティアセンター、二俣川駅行政サービスコーナー、今宿地区センター、茅ヶ崎市役所、川崎市幸区役所、川崎市幸市民館、幸スポーツセンター等

**イ 受講支援制度の周知と案内**

○コミュニティカレッジ主催講座を対象とする受講支援制度（助成金・奨励金）について、チラシの発送時やメールマガジン等で案内を行った。

「人材育成支援事業助成金（一般社団法人かながわ土地建物保全協会地建物保全協会）」  
(対象講座については、助成金の案内を同封するなどして対応。)

「横須賀市 市民公益活動人材育成研修受講奨励金制度」

(受講決定通知を送付する際に、横須賀市民の受講生に奨励金の案内を同封。)

**ウ 事務局職員の研修**

○かながわ県民センター防災研修（令和7年9月9日）

○要約筆記体験会参加予定 令和7年11月6日～12月4日全3回

主催：大和市要約筆記者の会 筆つき～ず

会場：大和市市民交流拠点ポラ里斯